

一般質問



稲吉 照夫 議員

問 駅を起点にした交通網整備を

答 交通体系の課題として検討

問 ハッピーネス・ヒル・幸田には年間37万人強の来場者がある。商業施設やJRを利用しやすく改善し、まちの活性化を問う。

答 ハッピーネス・ヒル・幸田周辺に商業施設はできないが、市街地が発展する中で、活気ある文化施設エリアが形成されることが好ましい。

問 町民会館内に商業施設名物などの情報提供を。

答 環境経済部長 案内用のパンフレットなど、店舗への誘導を考える。

問 ハッピーネス・ヒル・幸田とJR駅を結ぶ交通網整備を。

答 企画部長 町の交通体系に関する課題として検討したい。

問 駅前商店街のシャッターが降りている店の活用は。

答 環境経済部長 町商工会とも協力して、考えていきたい。

問 幸田駅前空地に軽トラック市、コンテナハウスなど集客施設を。

答 建設部長 借地による土地利用に合致しており、出店希望者など地権者に紹介をしたい。

問 名産物・特産物のPR、開発を。

答 環境経済部長 幸田町のイメージアップにつながるように努力したい。

問 自転車専用レーンの設置を

答 県に働きかけていく

問 5月は自転車安全利用月間。日常生活において自転車は手軽で、便利な移動手段である。

問 自転車の絡む事故の発生件数は。

答 総務部長 平成27年に



自転車で駅を利用する通勤通学者

29件が報告されている。

問 小・中学生の自転車利用上の交通マナー・ルールの指導は。

答 教育部長 小学校は、体験的に学ぶ交通安全教室で、中学校は、折に触

れて指導している。

問 自転車加害者になる事故を聞くと、中学・高校生の保険加入など対応は。

答 小中学生総合保障制度の案内をしている。

問 自転車利用者の安全に対する啓発活動は。

答 総務部長 交通安全大使と岡崎・幸田セーフティレディーが、一翼を担っている。

問 中学校・高等学校・JR駅周辺に自転車専用レーンの設置を。

答 建設部長 幸田駅から郵便局までの都市計画街路には、自転車専用通行帯の表示を県に働きかけていく。

問 JR幸田駅駐輪場の整備は。

答 町長 電線の地中化工事が終了した段階で、再整備をしていく。

一般質問



伊藤 宗次 議員

問 企業誘致だと叫ぶが実績なしだ

答 一生懸命頑張っている



建設が待たれる工業用地（須美東山）

問 企業立地課の仕事始めは、Aコープ撤退で町補助金2500万円くれてやりだ。

答 企業立地課 補助金適正化法に基づいて、産業振興課で適切に処理した。豊根村チヨウザメに5000万円。名大だ。低温プラスチックだと目先クルクル変え地に足つけずだ。

問 総合戦略の中に位置づけてある事業。

答 農振地域の農地造成事業。須美東山は事業完了しても完了させず、中村精機(株)進出を煽った町長と立地課だ。

問 当初の10ヘクタールから、開発方法を指定集積業種に変更の申し出があった。

答 町長 持続可能な町をつくるため、一生懸命頑張っている。

問 立地課の出張は突出。監査委員は、指摘したか。査の場で確認している。

答 町長 現在、3.5ヘクタール相当の開発区域で、鋭意事務を推進している。

問 立地課の猫ジャラシで踊る町長だ。

答 町長 持続可能な町をつくるため、一生懸命頑張っている。

問 町長と立地課にタマされた不信感広がっている。

答 健康福祉部長 月々の給付状況を確認しているが、影響は発見できなかった。

問 介護保険要支援1・2を介護保険から外し、総合事業に組み入れ、65歳以上の障害福祉サービスに移行。利用者負担どうなる。

答 利用者負担についての確認はできていない。

問 給付の適正化で国は、調整交付金を削いで、介護認定率低下を狙っている。調整交付金どうなる。

答 高齢化率により、保険料が集まらない市町に、国が不足分を補填するのが調整交付金。認定率の低下によって調整交付金が増えるかは未確認。

問 総合事業の名で介護外し。

答 総合事業は、町単独事業であり、自己負担、利用者負担の軽減策をつくられる。

問 町の独自事業の部分も含めて事業設計をすすめる。

問 介護保険が出来て17年目。制度発足から保険あつて介護なし制度。15年から利用料負担1割を2割にした。その影響は。

問 介護保険改悪利用者負担軽減を

答 独自部分も含めて事業設計する